

平成29年 第12回香芝市教育委員会会議(10月定例)会議録

日時 平成29年10月31日(火)
午前9時30分より
場所 香芝市役所5階 委員会室

〔出席者〕

教育長 廣瀬 裕司
委員(教育長職務代理者) 中木 秀一
委員 石原田 明美
委員 三岡 正美

〔欠席者〕

委員 田中 貴治

〔事務局〕

教育部長 村中 義男
教育部次長 福森 るり
教育総務課長 楠本 視和
学校教育課長 上谷 基博
こども課長 澤 和七
生涯学習課長(青少年センター所長兼任) 隈崎 倫夫
市民図書館長 仲西 靖子

〔書記〕

教育総務課副主幹 松田 陽介

- 日程1 定足数の確認
- 日程2 開会の宣言

教育長 公私とも大変お忙しいなかご参集いただきまして、皆様ありがとうございます。定足数に達しておりますので、これより平成29年第12回教育委員会会議(10月定例)を開会いたします。

教育長 田中委員は本日急用により欠席ということで連絡がございました。

日程3 署名委員の指名について

教育長 署名委員は、中木委員と石原田委員をお願いいたします。

教育長 前回会議録につきましては、委員の皆様方にその写しを配布いたしております。また、すでに署名委員のご署名をいただいておりますので、前回会議録の朗読につきましては、会議の円滑な進行を図るため省略したいと思いますが、ご異議ございませんか。

各委員 (「異議なし」の声あり)

教育長 異議がないということで、前回会議録の朗読を省略いたします。

日程4 教育長の諸報告

教育長 では、日程に基づきまして、私の動静についてご報告させていただきます。

教育長 前回9月26日の第11回教育委員会会議以降の私の動静についてご報告させていただきます。

27日水曜日は、文部科学省のICTアドバイザーにお越しいただきまして、来年度以降のICT教育についてのお話をお聞かせいただきました。

9月30日、10月1日は、私は行っておりませんが、運動会が多くございました。事務局職員や委員の皆様に出席いただきました。

10月2日月曜日は、10月の月例会がございました。特にその時に市長のほうからは、平成30年度予算案の編成時期が近づいてまいりますので、十二分に精査し、予算について慎重に案を出すようにというお話がございました。

同日、青少年健全育成市民集会の作文審査会がございました。12月9日の市民集会の際に市内の小中学校の児童生徒が発表する作文の審査会がございました。小中合わせて10作品が選ばれ、12月9日に発表いたします。

10月3日火曜日は、10月教育委員会事務局会議がございました。先ほどの市長の話を受けながら、予算案の作成に対して教育委員会として慎重に、そしてまたそれぞれ優先順位を付けながら検討していくようにとの指示

をさせていただきました。

同日午後からは、畿央大学との連携協定調印式に出席させていただきました。特別支援教育あるいはプログラミング教育についての連携協定でございますが、教員の資質向上を含め、授業改善等を勘案した連携でございます。

4日の水曜日は、市内4中学校の体育大会があり、委員の皆様にも出席いただきました。私も4つの中学校をすべて回らせていただきましたが、例年以上にどの中学校もきびきびと、そして元気に、中学生が主体となった体育大会が行われているといった印象を持っております。

6日の金曜日は、市民公開講座があり、これは大阪樟蔭女子大学との連携のもとに行われているものでございますけれども、子育てをテーマにして、市民の方に4回のシリーズの講座を受けていただいております。毎年たくさんの方にご参加いただいております。

7日の土曜日は地域フォーラムと言いまして、葛城の5市町の首長と知事が来られて、それぞれの政策についてお話を聞かせていただきました。

10日の火曜日は、校長会があり、特に運動会、体育大会が終わったところが多いんですが、その行事の成果を今後の教育活動に活かすようにといった指示、そしてまた働き方改革と言っておりますので、各学校の先生方に対して勤務時間を守る、あるいは業務改善を行っていくといった話もさせていただきました。

11日の水曜日は経営会議が開かれ、市の来年度の重点戦略について話し合いが行われますけれども、教育委員会からはICTの環境整備、あるいは三和幼稚園の3歳児保育等々について提案させていただき、検討していただいております。

12日からは学校訪問が始まり、教育委員の皆様におかれましても、大変お忙しいなかではございますが、ご出席いただいております。このことについては後ほど話題にしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

同日、平野塚穴山古墳を、文化庁からも職員がお越しいただいておりますので、視察させていただきました。部長あるいは生涯学習課長と一緒にだったんですが、ご承知のように平野塚穴山古墳は、いわゆる位の高い人が埋葬されているだろうと言われておりますが、現在その整備がまだ進んでおりません。計画途上でございますし、まだまだ考えなければならないところがございますので、文化庁あるいは県の文化財担当にも来ていただいて、いろいろと指導をいただきました。

13日の金曜日は、相撲発祥の地である腰折田に、相撲発祥を記念する碑を立てておりますので、そのオープンと言いますか、視察に、市長、副市長とともに行かせていただきました。こういった場が香芝の観光あるいは

教育に活かされていけばいいなと考えております。

同日、下田小学校の学校訪問がございました。

14日の土曜日は保育所の運動会がございましたけれども、私は若葉保育所、みつわ保育所に行かせていただきました。他には五位堂保育所、真美ヶ丘保育所の運動会もこの日行われておりました。

同日夕刻からは、香芝市PTA協議会との懇談会を持たせていただきました。防災について、あるいは教員の資質についての話し合いがあり、特にPTAとして災害があった場合にはどのようなかたちで参加すればいいのかといった話し合いがあり、昨年香芝中学校で避難所運営ゲーム、いわゆるHUGと言うんですけれども、そのゲームが行われましたので、そういったものを今後PTAとしてやっていったらどうだという話し合いが行われました。次長にも出席していただいております。

15日の日曜日は、三和幼稚園の運動会がございました。雨が続いておりましたので、当日運動場でできなくて、急遽三和小学校の体育館をお借りして実施されております。

16日の月曜日は、教頭会があり、校長会と同様に働き方改革等々について意見を聞き、また進めていただきますようお願いもさせていただきました。

18日の水曜日は、真美ヶ丘東小学校の学校訪問がございました。

19日の木曜日は大相撲香芝場所が総合体育館で行われ、当日朝から雨風があったんですけれども、3,000人を超える方の入場があったと聞いております。市内からは就学前ということで保育所あるいは幼稚園の園児が参加していたのが印象的でした。

20日の金曜日は志都美小学校の学校訪問がございました。

同日、幼稚園こども園の主任会があり、先ほどの運動会等々についての話し合いもされております。

21日から22日にかけては、台風21号が近畿地方に上陸してきましたので、22日の夕刻から香芝市防災対策会議が開かれ、避難所が志都美小学校、香芝西中学校、智弁学園奈良カレッジで開設され、遅い時間からは二上小学校も避難所に追加されました。教育委員会の職員は避難所開設の担当でございますので、当日は朝から衆議院議員選挙もあったんですが、選挙事務を切り上げて避難所に行き、避難者の方と一晩一緒に過ごしております。大きな被害はなく非常によかったんですが、避難所についても今後学校と連携していく必要があると考えております。避難所となった学校の校長先生、教頭先生には遅い時間でしたがお越しいただいており、一晩避難所開設にご協力いただきました。

24日の火曜日は、香芝東中学校と香芝西中学校で学校訪問がございま

た。

25日の水曜日はニコニコあいさつ運動で、私は五位堂小学校に行かせていただきましたけれども、市内の小中学校に教育委員会事務局からも参加させていただき、子どもたちは非常にあいさつが大きくなってきたように思います。

同日、経営会議があり、10月11日の経営会議に続きまして開催され、先ほどの話の続きとともに、30年度の予算編成についての方針が出されております。

同日、県の都市教育長協議会があり、県教育委員会の各課からいろいろな報告や提案がございました。

26日と27日は2日間に渡りまして、近畿都市教育長協議会研究大会があり、今年は大阪府が担当でございまして、2日間出席させていただきました。「未知の状況にも対応できる力の育成」がメインテーマでございました。『「何を知っているか」から「何ができるか」・「できることをどう使うか」』をテーマにして話し合いがあり、特に宇治市、大和郡山市、大阪狭山市から報告がございました。どの市も特色ある取り組みをされていますが、特に先ほどのテーマにもありますように、学習指導要領の3月の告知を受け、新しい教育に向かっていろいろな取り組みをするとともに、今後研修を深めていく必要があるといった話し合いがされております。

28日の土曜日は、樟蔭女子大学と本市は包括連携協定を結んでいるのですが、その樟蔭学園の創立100周年記念式典がございました。学長さんとも親しくお話させていただいたんですけども、今後とも市もそうですが、特に教育委員会には、いじめ・不登校等対応委員会にも先生に出席いただいておりますし、あるいは不登校対応にもご協力いただいておりますので、今後ともよりいっそうの連携協力をよろしく願いますといった話もさせていただきました。

29日の日曜日にはライジングダンス競技大会、いわゆるボールルームダンス、社交ダンスの大会があり、これも台風が懸念されたんですけども、香芝市では特に警報は出ないということで、西日本各地からご参加された大会が行われました。

昨日30日は五位堂小学校の学校訪問がございました。

同日午後からは、三岡委員も出席いただきましたが、香芝市中学校英語暗唱大会があり、私は最後までいられなかったんですけども、練習は聞いておりましたが、素晴らしい発表が行われたと聞いております。

そして本日、第12回教育委員会会議となっております。

以上、本日までの私の動静でございました。何かご意見ご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。

中木委員

2点質問したいと思います。1つは9月27日に文科省からICTアドバイザーが来られたということでしたけれども、ICTを使った教育ということについて、国はどのようなことを目標とされているのか。同時に、各自治体に対して助成金等がどのような方向を向いているのか。こういったことについてお聞かせいただきたいと思います。

2つ目ですけれども、10月25日に県の都市教育長協議会があったということなんですが、今年度あるいは来年度以降に都市教育長協議会としてどのような方向性なのかがあればお聞かせいただきたいと思います。以上です。

教育長

1つ目のICTの件について、次長からお願いいたします。

教育部次長

9月27日に文部科学省のICTアドバイザーにお越しいただきまして、いろいろとご助言をいただいております。内容につきましては先ほど委員からご質問のありました国全体の方向性についてのご教示であったり、具体的に予算を獲得していくうえでの計画の作り方ですとか、私どもが今懸念しております、教員にこういった研修をしていくのかといった具体的な質問について助言をいただきました。今中野区のほうで校長先生をされているんですけれども、かつて文部科学省で5年、東京都教育委員会で5年、それぞれ事務方としてICT教育の推進に寄与されてきたということで、本当に具体的なアドバイスをいただいております。それから国の補助金のごことでございますけれども、文部科学省のほうはあくまでも地方財政措置をするということで、1校あたり500万円程度の財政措置をしていますということで、地方交付税を算定する際にそういった積算をすることができるといふふうにしておりまして、いわゆる補助金という直接的に何分の何の割合で使ったお金の補助を出しますといった設計はしておりませんので、あくまでも見かけ上は市のお金が全部出て行くというような制度設計になっているという状況でございます。なかなか直接的な補助をいただく手立てがなく私どもも苦労しているという状況でございます。以上でございます。

教育長

今の説明についてはよろしいですか。それでは2点目の都市教育長協議会の件についてですけれども、1つは県の施策について県教育委員会から聞くというのが1点と、2点目は12市の情報交換といういわゆる2部構成でございます。1点目の県教育委員会からの報告、連絡でございますけれども、特に印象的だったのは人事に関する話がございました。これから

はご承知ように、教職員人事をどう進めていくのかという時期に入ってくるわけでございますけれども、人事に関して1点目は採用試験が無事終わり、合格者を発表させていただきました、ご協力ありがとうございましたというお礼とともに、30年度の県費教職員人事に関しまして、いわゆる管理職の人事あるいは先生方の人事においても、地教行法の改正により市町村教育委員会の内申を尊重するということが大前提ではありますが、全県的な立場に立って県の教育委員会ができるだけ集約して管理職の人事も行っていきたいという話がありました。なおこれはまだ、私も出席させていただきました会議がございますので、決定ということではなしに、そういった意向を持っているということでお聞きいただきたいと思いますが、県のほうが中心となってそういう人事異動を進めていくという話が1点ございました。またこれは国のほうの動きとも関係するんですけれども、今奈良県では特別支援学級の児童は、1つの種別で6人で1クラス、7人であれば2クラスという県の定員基準を持っているんですけれども、国は8人で1クラスとなっております。つまり奈良県のほうが手厚いといったかたちになっておるんですけれども、6人を8人に戻していきたいという話がありました。これは以前からそういった話がございます、都市教育長協議会でもお願いして、あるいは現場からもそういった声を聞いているんですけれども、財政的な問題も含め、定員を国の基準に戻していきたいという方向の話がありました。繰り返しになりますが、これは結論ではございませんが、そういった話がありました。また他の課からは、先ほどもありましたように指導要領が28年度末3月31日に告示されましたので、それを受けて研修を深めていく、あるいは研修をしていく。あるいは先ほど話があったICTの研修あるいは外国語、道徳を含めた研修を深めていく。そういった講座を今後とも持っていきたいといった話がありました。最後に来年度の話なんですけれども、今年は働き方改革のなかで奈良県ではいくつかの教育委員会が夏休みの長期休業中に学校を閉校する措置をとっている学校がございます。本市ではそういった取り組みはないのですが、中教審あるいは文部科学省のほうからそういった取り組みを進めてほしいという話もあったので県のほうからも出てきたんですけれども、来年度以降夏休みに一定期間、学校を閉校する措置を取ってほしいという話がありました。ちなみに県の先ほどの研修機関、教育研究所であれば来年の8月13日から15日には研修は持ちませんといった話がありました。これはまた学校現場の意向も聞きながら議論していく必要があると考えております。大きな内容としては以上でございます。

教育長

よろしいですか。では、他にご質問等ございませんでしょうか。

石原田委員 22日の件ですけれども、避難所開設等々していただいたなかで、今後検討していかなければならない課題などが見えてきたようであれば共有いただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

教育部長 先ほど教育長の報告にもありましたように、本市の教育施設のうち志都美小学校と香芝西中学校、二上小学校を市の施設として避難所を開設いたしました。他に、智弁学園奈良カレッジと福祉センターも開設されたんですけれども、今のご質問のなかで1点だけ、志都美小学校で避難に来られた方が5時、6時頃に帰られたという事例がございました。ご承知のように志都美小学校というのは体育館に行くには校舎のなかを歩いて行かなければならないというところで、選挙の関係もあり人数がなかなか揃えられなかったということもあり、教育委員会事務局から担当者1名と校長先生の2名で避難所開設等を行っていただいていたんですが、正門のほうはいつも通りインターホンで対応いただいて、裏門のほうは開けておいて、体育館も準備を整えておいたんですが、当然職員室は電気が付いていたんですけれども、なかなかインターホンでの対応をしてもらえなかったものですから、正門が閉まっているというところで、帰られたということがございました。他の学校でしたらどこからでも外側から体育館に行けるんですが、志都美小学校は校舎のなかを歩いて体育館に行くという仕組みになっておりますので、管理上最初のうちは正門を閉めていたというところでもございました。自治会長からもそういったご指摘がございまして、対応といたしましては、今後は、志都美小学校においては今現在1名の担当ですが、複数名を担当として対応させていただきたい。校舎側にも1名付けて、体育館にも1名というかたちにさせていただきたいと考えております。以上が今回の反省点であるところでもございます。

教育長 特に今回選挙が重なっておりまして、選挙のほうに職員が行っており、人数を集めるのが大変だったというレアケースだと思うんですけれども、選挙の途中で避難所に行ってくれた職員もございます。私も部長も役所に泊まっていますと指示を出させていただいたんですが、大きな被害がなかったのが幸いです。併せて、先ほどPTAの時にも少し言いましたが、PTAの会長さんも避難所に様子を見に来てくれたり、もちろん校長先生、教頭先生もそうですが、かなり遅い時間から、勤務校までかなり遠い校長先生もおられたんですけれども、駆けつけていただいたということもございました。いろいろと課題もございますので、これは教育委員会だけではなしに、市全体としてまたそのあたりは検討し、いい方向に向

ければと思います。

教育長 それでは、他にご意見ご質問等ございませんでしょうか。

三岡委員 防災に関することで併せてお伺いしたいんですけれども、以前にもこの場でご質問させていただいたんですけれども、Jアラート発令時の学校での避難訓練などは特にされないということだったんですが、学校訪問をさせていただきまして、先日1つの学校だけJアラート避難時の対処方法について各クラスで掲示してあったんです。子どもたちの不安を煽るということはできるだけ避けたいと思うんですけれども、教職員の方だけでもJアラート発令時、万が一の時に子どもたちをどこに避難させるかという訓練なり対処方法は考えていただきたいなと思うんですけれども、そのあたりの教職員の危機管理、防災対策はどのようになっているんでしょうか。

学校教育課長 その件につきましては今月の校長会の折に、あるいは教頭会、主任会を通じまして、県から事前に出ていたものに基づいて、市のほうでも対応マニュアルというものを作成させていただきました。それについて会議を通じて下ろさせていただいております。学校に生徒がいるというなかにおいては、まずは身を守るということで、これは地震やその他の避難訓練と共通するところですが、とにかく外には出ない。地震の場合は火事も想定されますので最終的にはグラウンドに避難するというのをしますけれども、このミサイル発射ということにおきましては逆に安全な室内で身を守るということです。そのあたりも含めた対応マニュアルを市で作成しましたので、10月の校長会、教頭会、主任会を通じて現場に下ろしております。あとは現場で先生方にどう周知するのか、若干学校によって取り組みの差はありますが、共通理解という点ではすでに発信をさせていただいております。

教育長 おそらく今月の職員会議等でそういった話もあると思うんですけれども、若干タイムラグがあるかもしれませんが、非常に大事なことですので、校長先生あるいは所長、園長にも今の三岡委員のお話を伝えていきたいと考えております。

教育長 では、他にご意見ご質問等ございませんでしょうか。

教育長 ないようですので、次の案件に進みたいと思います。

日程5(1)諸報告

教育長 日程5(1)「諸報告」として各課より報告等があればお願いいたします。

市民図書館長 市民図書館よりご連絡申し上げます。10月27日から11月9日の読書週間に合わせまして、市民図書館では「としょかん・本のまつり2017」ということで、10月24日から11月26日まで開催いたします。期間中におきましては、小学生以下の子どもに対しましてはスタンプラリー、11月3日から26日までの間は図書館視聴覚室におきまして「香芝の民話紙芝居原画展」を行います。毎年行っておりますが、今年の内容といたしましては香芝の民話のなかから「観音道」の展示を行わせていただきます。また、11日土曜日には子どもと本の講座「絵本で楽しむ科学の世界」、11月26日日曜日にはミニコンサートを視聴覚室で「琴の世界」と題しまして開催させていただきます。委員の皆様には、お時間がございましたらご来館いただきたいと思います。以上でございます。

教育長 では、他に各課より報告等があればお願いします。

教育長 11月はご承知のように文化会などがたくさんございますので、またご出席のほどよろしくお願いいたします。なお、11月18日は「香芝市教育の日」になっておりますので、多くの方に幼小中の授業参観等に来ていただきたいと思っておりますので、委員の皆様もよろしくお願いいたします。

教育長 それでは各課からの報告は以上といたします。普段であれば議案がたくさんございまして、その審議に時間を費やし、なかなか委員の皆様の普通の思いを聞かせていただくことはできないんですけれども、今日は後特に議案等ございませぬので、ちょうど保育所、幼稚園、小中学校の運動会、体育大会も終わりました。学校訪問もちょうど半分が終わっております。そのようななかで香芝市の就学前教育あるいは学校教育等についていろいろとお考えいただいている点があると思っておりますので、今日はこの後、結論を出すというよりもいろいろなご意見をお聞かせいただいて、また今後の教育行政に活かしていきたいと思っておりますので、思っていること、ご意見を頂戴できたらなと思っております。時間のほう約30分を考えておりますので、関連なご意見いただけたらと思っております。どうでしょうか。

中木委員 運動会、体育大会についてということでお話をいたします。私は真美ヶ

丘東小学校と下田小学校、香芝西中学校と香芝中学校の合計4校に見に行きまわりました。保育所と幼稚園は日程の関係で残念ながら見る機会がなかったんですけども、見た感想を申し上げると、どこの運動会、体育大会につきましても子どもたちがいきいきと楽しんでいた。そして全力で活動していた。その全力というのは、ダンスや走ることが苦手な子どもも一生懸命にやっているという姿を見ることができました。特に徒競走では終われば1位から5位、6位まで並ぶんですけども、下位の子どもの顔を見ていると、なかなかすがすがしい顔をしていると。そういったところを見るとなかなかいい大会が開催されているのかな、子どもたちの成長にいい影響が出ているのかなということを感じました。特にリレーなどで思うことが、自分たちのチームに対する応援ということが年々活発になってきていて活気付いていると。仲間意識ということについてすごくいい方向に展開していただいているのかなと感じたところでございます。運営につきましては、先生方はもちろんなんですけれども、上級生の子どもたちが実にきびきびと動いてくれていたということが印象的でした。同時に、4つの学校すべてで保護者が座る席を必ず埋まるようにしてくれているんですが、どこの学校も保護者の方たちが整然と動かれている。席の配置から動きに至るまで。見ているとどうも保護者席のほうはPTAの方たちを中心に管理運営されていると見受けられたんですけども、先ほど先生、子どもという話をしましたけれども、PTAの方たちも随分と積極的に協力していただいているという感じが感じ取ることができました。非常にいい方向に行っていると感じております。1つすごく印象に残ったのは、香芝中学校なんですけれども、クラス対抗リレーというなかで教職員が一緒に走るという場面がありました。校長先生も激走されておまして、その時の子どもたちの歓声がすごいなど。他の先生に対しても子どもたちの声援がすごくて、学校運営がすごくいい方向に向いているんじゃないかと、大変うれしく思いました。先ほど教育長からもあったんですけども、10月はなかなかお天道様が顔を見せない日が続くなかで、日程の順延、時間変更等、各学校の特に管理職の先生方には心労が重なっているんじゃないかということについて心配しております。同時に、結果は無事に開催できたということなんですけれども、地域の方や保護者の方が日程の変更に対して、私はそれぞれの学校の管理職の先生が子どもたちのためだという判断基準で日程変更をなされるということが続いていると思っております。けれども、やはり個人の都合でこれがどうだ、あれがどうだということが今後とも学校に対して出てくるかもしれない。そういうことについてはしっかりと教育委員会としてもフォローしていただきたいなと思っております。特に二上保育所の運動会が、先々週の土日がだめで、先週の土日がだめで、最

最終的に月曜日という、どんどん変更が重なったということについて、とりわけいろいろな声が聞こえてくるのかなという懸念がやはり感じております。これは十分にケアおよびフォローをお願いしたいと思っております。運動会、体育大会についての感想は以上でございます。

教育長

ありがとうございます。本当に各学校、園、所で学校長や所長、園長をはじめ、先生方がご苦労されて日程や場所の準備をしていただいております。保育所も含めて、昨日すべての運動会、体育大会が終わりました。なお、今出てきた話、これは運動会だけではないんですけれども、やはりなかには子どもたちの歓声が、あるいは運動会での練習での様子が非常にやかましいといった苦情が教育委員会にも来ております。丁寧に説明もし、お願いもし、謝罪もしているんですけれども、なかなか理解がいただけないという現状でございます。このあたりは今後ぜひ地域住民の方にご理解いただけるようにわれわれとしても考えていく必要があるかなと私も思っております。

教育長

では、他の委員はいかがでしょうか。

石原田委員

少し違う視点から意見を述べさせていただきたいんですけれども、学校訪問なんですけど、私は今年3回目になっているんですが、当初から思っていたことが、今の学校訪問のかたちが本当にベストなのかどうか再考してもいいんじゃないかと思っております。10何人ですべての学校を回り、特に大きい学校になりますと1クラスに1分入れるか入れないかという動き方をしている、そこで見たものをフィードバックしているということを見せていただいているんですけれども、これが本当に学校のためになっているかたちなのかどうかは常々疑問に思っておりました。例えば子どもの視点から見てもたくさんの方が一度にワァーッと出てワァーッと出て行くことに対してどういった印象を持っているのでしょうか。私たちは子どもたちのためだと胸を張って言い切れるのかどうかということと、例えばですけれども、小グループで分担して回るということもできるのかもしれないし、といったところで、再考してもいいのではないかと思います。それまでの蓄積があつてこのようなかたちになっているということであれば、それはそれで教えていただきたいところではあるんですけれども、前からこうだったからずっとこうしているということであれば検討の余地はあるのではないかと思います。

教育長

私の意見ですが、石原田委員がおっしゃることはよく分かります。ただ、

今のことをフォローする意味で各委員さんに担当の学校を持っていただいておりますので、決して意見を否定するわけではございませんが、教育委員の皆様にはいつ担当する学校に行ってもらっても全く問題ありませんし、これは学校長のほうにも言うておりますので、今の話と関係するかは分かりませんが、遠慮なしに行っていただいで、学校の意見を聞いていただき、アドバイスいただければ結構でございます。ただ、今のようなかたちがいいのかどうかということについて、今のご意見をもとにしながら検討する必要はあると思います。人数の件、時期の件、時間、テーマなど、いろいろな点で検討していく必要はあると思います。ちなみに参考までですが、学校訪問は基本的に市の教育委員会が主体的に行うものでございますので、県の教育委員会は市の学校訪問に同行させてもらうということですが、これは私の経験ですが、県の教育委員会から来るということによつて各市、学校での課題を県のほうでも共有していただけるといふことで、これは市町村によっては県の教育委員会を呼んでいないところもございします。あるいは年に2回、こういうかたちで、人数は少ないけれども1学期と2学期と行かれるところもございします。また、教育委員として意見も出し合う必要、まとめる必要もあるかと思ひますので、またよろしく願ひいたします。

教育長 今の点はよろしいですか。他にご意見等あれば願ひいたします。

三岡委員 まず運動会のことについてご報告させていただきたいんですけども、私のほうは五位堂保育所、二上幼稚園、下田小学校、香芝東中学校を回らせていただきました。どの幼稚園、保育所、学校に行きましても子どもたちは本当にやらされている感がなく、自分たち自らが楽しんで行っているということを肌で感じました。また、PTAの力がすばらしいなと思ひましたのが、例えば下田幼稚園ではジャングルジムやすべり台などの大型の遊具をすっぽりとくるんで、未就園のお子様が遊んでケガをしないようにと配慮されていて、すごくご苦労が伝わってきました。また、どの園、学校もガードマンを配置して、近隣に路上駐車しないように厳しく指導しておりまして、おそらくその費用はPTAが出してくださっているんだと思ひますけれども、本当にPTAの方々のお力があって運動会が成り立っているんだなということを感じました。また、二上幼稚園で感激しましたのが、西中の生徒たちがチーム西中ということで、30数名が早朝から手伝いに来てくれておりまして、子どもたちのお世話はもちろんのこと、幼稚園の先生方の補助、白線を引いたり、道具を運んだり、きびきびと動いてくれて、今の中学生はすごいなと思ひて、チーム西中を立ち上げて

くださって本当にありがたいなと感動いたしました。あと、気温の低い日もあったんですけども、暑い日が重なったときは熱中症対策をきちんとされていて、児童席にテントがある学校がほとんどでしたし、よしずなども張られて子どもたちに直射日光が当たらないようにですとか、かなり配慮されていると感じました。あと、特に小学校なんですけれども、幼稚園の園長先生、保育所の所長先生も応援に来てくださって、卒園児にお声かけを積極的にされていて、子どもたちもうれしそうに声をかけていて、その時の園長先生、所長先生のまなざしが本当に暖かくて、幼稚園、保育所、小学校の連携がしっかりとされているなということが感じられました。運動会に関して、私からは以上です。

教育長 その他、こういったことでも結構ですので、ご意見等ございませんでしょうか。

中木委員 学校訪問について感じたことを述べたいと思います。いずれの学校におきましても、最低限われわれが動く周辺の環境はきれいであるということです。校舎そのものが老朽化しているところがいっぱいあるんです。いっぱいにあるながら、実際に動く周りにはきれいに整理整頓あるいは掃除されているということが、教育環境としては最低限の管理をさせていただいているというふうに感じました。これを管理しようと思ったら、学校の先生方だけではなくて、子どもたちそして地域の方々、PTAの方々みんなの力が必要で、それらが整わないという環境にはならないと思うんですけども、地域とともにある学校という感じを受けたことは共通して思ったことです。明後日以降の学校訪問でもこういったかたちがどこでも維持されているということになってくれたらいいなというふうに思います。それから、学校の先生方について言えば、今ちょうど50歳以上のベテランの先生方がやはり非常に多くて、40代の先生はものすごく少ない。20代の先生方が最近増えてきていると。こういう年齢構成になっているわけなんですけれども、学校の経営をやっていくなかで中心になる方。これはもちろん校長先生、教頭先生が中心になりながら、いろいろな教務主任であるとか指導受任、あるいは学年主任というキーになる先生方について、あえて年齢の若い先生をあてて、それを教育していくんだというふうなことを意図的にやっておられる学校が数校ありました。若い先生にそのまま例えば6年生の学年主任をなささいというだけで終わることなく、その後必ずベテランの先生が配置されている。そしてベテランの先生が歳がいつているからもういいといって横を向くんじゃなくて、若い先生がしっかり指導しながら体制をつくろうというふうに取り組んでおられる学校。ところどころまず

いところが出てきていたりするのかもしれませんが、私たちが見た感じからすると、結果として若い先生方がベテランの先生の指導を受けながら、自分が責任を持ってやるという意識のもとに、徐々に自分のスキルを上げていっていただいていると感じて、校長先生は小中で14名のうち5名が定年退職されるというなかで、先生方がやはり後進の育成ということについてすごく配慮していただいているんだなということを感じたところです。実際に授業の様子を見れば、落ち着いた授業がすべてとっていいくらいされていました。そんななかで特に際立っているのが、中学校のなかで1日で東中学校から西中学校に行ったんですが、東中学校の授業の方法が今までの中学校での授業の方法とうんと違う方向を向いている。言葉ではアクティブラーニングという言葉が最近よく使われるんですけども、非常に能動的に子どもたちを動かすということによって、子どもたちの集中力を高めるという工夫がいろいろな場面でできていたと感じました。西中学はまだまだこれからそういったことについて努力して具現化するという必要があるというふうに感じたんですけども、昔ながらの教え込み授業に、子どもたちは確か昼から、子どもたちが1番眠たい昼ごはんを食べてからの授業あるいはその次の授業を見せていただいたんですけども、眠たいさなかで1人も寝ている子がいないという、教え込みタイプでも集中して子どもが授業についていくというだけの教師と子どもの信頼関係があるのかなと。授業の方法はこれから工夫していく必要はあっても、学校の教育環境という意味では非常にいい方向を向いているのかなというふうに感じております。私はどこの学校でも言っている話で、姿勢がよくないというクラスが見えたり、これは先生によって変わるということもあるし、学年によって変わる場面もあります。そしてもう1点が、私は今年鉛筆の持ち方を必ず指摘するようにしているんですけども、中学校では指摘してよくなるかどうかは分かりませんが、やはり小学校においては、鉛筆の持ち方は上手な字を書くということだけではなくて、読める字を素早く書くという意味で、そうじゃない子どもがあまりに多いということ。これは何でだと言ったら私の孫が1年生になったんですが、ひどいんでこの夏休みに家に帰っている間3日間直そうとしたけれどもできなかったということがものすごく頭にあって、こういうことを言い始めたんですけども、孫は字が速く書けないと言います。私は社会に出てからもすごく素早く読める字を書けるということが必要だと思っているなかで、今のままだったら本当に、国語嫌いがものすごく多いなかで、国語離れに繋がらないかなという懸念を持って、すべての学校で鉛筆の持ち方がよくない子が非常に多いということが少し残念だという、そういった指摘をしてきたというところで、きっとこれからもどこの学校に行っても同じことを言うんじゃない

いかなという懸念はしているんですけれども、そういったところが印象に残ったところでございます。

教育長 ありがとうございました。他にどうでしょうか。

石原田委員 1点だけなんですけど、先ほど中木委員からお話ありましたように、本当に老朽化している施設のなかで、学校の先生方の努力が非常にあるなかできれいな状況が保たれていると思うんです。ただその一方でやはり限界もあると言いますか、1番気になるのがお手洗いなんですけれども、廊下にも臭いが出るという状況にあって、行ったときも水漏れや故障があるという話を聞いていたんですけれども、先ほどの避難所関係の話にもなりますが、学校というのが教育現場というよりも、市の財産、施設だと考えたときに、例えばトイレが壊れているところにたくさんの方が避難するという状況になるときに、どういう混乱があるかというのは、本当に目に見えてということだと思っただけです。先生がその時に掃除をしていただくとか、そういったことでは一切ないと思いますので、市の財産として学校の建物を考えた時にやはりトイレの修理や、避難所である体育館の雨漏りであるとかいったものは早急に優先順位が高くなるような課題なのかなと思ったりもいたします。以上です。

教育総務課長 施設の老朽化につきましては担当課としてもひしひしと感じておりますが、なにぶん予算があつての話というところもございまして、これから時期的に予算要求あるいは予算査定の時期となりますので、その点財政部局との討議も重ねまして前向きに検討してまいりたいと思います。以上でございます。

教育長 他によろしいでしょうか。

三岡委員 私のほうから不登校に関することと、中学校給食に関することを少し述べさせていただきたいと思っております。各学校の校長先生が大変熱い思いを持ってらっしゃって、先生方も学習意欲の向上のため様々な工夫を凝らして授業に取り組んでいらして、特に今の若い世代に欠けていると言われるコミュニケーション能力を高めることに力を入れた授業をされているなどと思ひまして、去年初めて学校訪問をさせていただいたんですけれども、その時よりもグループ学習、アクティブラーニングがかなり多く見受けられました。このグループで学びあうという時に、活発に意見を出し合っているグループもあれば、プリントに個々に考えを書いているというグループ

もあって、先生方はなかなかアクティブラーニングが進まない子どもにもどのように仕向けていくかというのが課題になるとおもうんですけども、学びの共同体をベースに授業を進められているなかで、西中でしたが、体育の授業のときにマット運動で、倒立が苦手な男の子が隅で1人で何回も練習してた時に、先生は手がいっぱい見てあげられないのかな、誰か得意な子が見てあげたらいいのになと思って様子を伺っていましたら、1人の男の子が横でこうやるんだよと見本を見せてくれて、そうすると2人3人と男の子たちが来て、足を支えてくれたり、いろいろとアドバイスをしてくれていて、こういった学びの共同体ということがこういった体育にも活かされているんだなということを感じました。その時にこういう教え合ったり協力したりすることができる子どもたちなので、このことが不登校の子どもたちへ手を差し伸べるということにも活かされないのかなということも思ったんですけども、特に中学校で不登校が大きな課題になっておりまして、私も中学生の子どもがいますので聞いたときに、不登校については触れないのが暗黙のルールらしくて、そっとしておいてあげるのが親切という考えが浸透しているように思います。不登校の子どもたちは休みがちなので、学校に自分の居場所がないと思うんです。やはり子どもは1人でいるのが恥ずかしい、辛い。大学生になっても「ぼっち」と呼ばれていて、1人でお昼ご飯を食べるのが恥ずかしいのでトイレで食べるという話を世間では聞いたことがありますが、そういった子どもたちに学校に来て誰か常に寄り添ってあげることができれば、1人じゃないという安心感があり、自分の居場所もでき、もう少し学校に来るハードルが低くなるのではないかなと思いました。そうやって不登校の子どもたちに対して無関心であるのではなく、子どもたち自らが手を差し伸べてみんなで卒業するという体制をとっていったらなと強く思いました。

中学校給食については、私たちは学校訪問のなかで、今年も中学校で給食をいただく機会があったんですけども、そのときのメニューはししゃも、ひじき煮、きのこの味噌汁だったんですけども、味付けもすごくおいしかったですし、私も親といたしまして子どものお弁当になかなかお魚を入れることが難しく、子どももおいがするので嫌がりますし、お弁当では野菜をたくさん入れるのもなかなか難しいので、学校でお魚をいただき、野菜もたくさん出て、またこれから冬になりますと寒くなりますので、食缶をととてもいいものを用意していただいておりますので、子どもたちが言うには熱々のまま出てくるということで、冬場は本当にありがたいと思います。いろいろな意見もあると思いますけれども、中学生議会にも挙がっていたように、中学生が考えた献立というのを取り入れて、栄養士さんと相談のうえ実現できたらおもしろいのではないかなと思いました。私

のほうからは以上でございます。

教育長 ありがとうございます。事務局のほうから何かあればお願いいたします。

学校教育課長 不登校に関連して少しお話させていただきますと、市内4中学校ともに不登校を含めた長期欠席の傾向にある子どもが多いことは事実でございます。各学校とも本当に担任の先生を中心に、日夜その解消のための努力をしています。われわれ行政としても適応指導教室、すみれ教室を通して支援をしていくというかたちで行っているわけなんですけれども、とにかくすべて事情が違うというなかで、これがベストな方法というのがなく、手探りの状況のなかで経験値に基づいて取り組んでいるんですけれども、一方で月1回不登校保護者の会というものを自主的にされているところに、われわれも指導主事と参加をしております。そのなかで聞いていますと、例えば友達がよく来てくれることがプラスに働く場合と、そうでない場合があるんですけれども、案外学校の教師が知らないところで子どもたちが動いてくれていることもあります。それが幼馴染であったり、同じ部活の子であったり、そういうなかで学校には来れていないけれども一定の関係を築けていて、一緒に遊んでいるということもあるので、なかなか学校のなかだけで見ていますと子どもたちもそういうそぶりを見せませんし、何もしていないように思えることでも案外影でそのような努力をして、やっていける部分についてはやってくれています。初期の段階においては例えばプリントを届けてもらうとか、なにかしらの働きかけを促していくんですが、対象になっている子どもの性格や理由もいろいろあって、例えば人間関係のこじれで行きにくくなった子どもさんはなかなか会うことができませんし、そのあたりなかなか難しいなかで、案外子どもたちはできることをやってくれていることが多いと思います。以上でございます。

教育部次長 私たちも登校してもらうことにいろいろと支援をしているわけなんですけれども、通うことがむしろ苦痛になっている、いわゆる苦登校というような子どもさんもおられます。ですので、私たちの価値観で、登校することを促すことを最終的な目標にしたりということもありますが、今文科省のほうでも学ぶ場のことについてはいろいろな価値観が認められてきておりますので、そういうところで今課長からも申し上げましたように、本当に1人1人のきっかけや原因、現す症状なども本当に複雑で、三岡委員のおっしゃったように居場所がないということで来づらい子どもももちろんいるんですけれども、来れば通常の学校生活を送っている子どももお

りますし、本当に複雑な子ども1人1人の一番ベターな方法を模索しながら、それを教育委員会として、直接的であったり間接的であったりしてサポートしていくというかたちで進めて行きたいなど。そして登校を促すという意味でも、子どもたちに本当に1番大切なものはなにかという見極めを私たち大人側もしていかなければならないと思いつつも、多様な支援のあり方を認めていきたいなど思っております。よろしくお願いいたします。

教育長

本市ではいわゆる登校しにくい子どものための適応指導教室としてすみれ教室を開設いたしております。部次長、課長、指導主事も時間があればよく行っていただいております。私も式には必ず行っており、自分ではその校長だと思っているんですが、子どもたちの様子を見させていただいております。今話があったように、子どもがそこに至った経緯、原因が多種多様で、なかなかそのあたりの見極めや手立てが難しいんですけども、すみれ教室と学校との連携を十分に取っていただいて、学校に行けるようになった子どもは例えば別室登校で勉強していると。別室登校でそこへ行っているだけでは子どもたちの学力保障はできませんので、そこで市のほうから退職された先生をお願いして、学力向上に努めているといった取り組みをさせていただいております。ただ本当に不登校というのは社会、家庭、学校も含めていろいろなところに原因がありますので、誰が悪い、誰がやったらいいではなく、いろいろな人ができるときに1番いい方法を見つけていくという、そういうことが必要かなと思いますので、今ご意見いただいたことも十分に参考にしながら、また少しでも香芝市の子どもたちの不登校がなくなり、あるいはたとえ不登校であっても生きていくことの喜び、学ぶことの喜びを持つ、そんな子どもが増えてくれればと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

教育長

時間の方が来ておりますので、最後に私のほうから述べさせていただきたいと思っております。先ほど中木委員からありましたように、香芝市内の学校は過去にいろいろな荒れや揺れも含めて課題がございました。もちろん今もあるんですけども、今私も見えておりましたら小学校、中学校も含めて、もちろん幼稚園も、今年から所管になりました保育所も含めて、先生方を含め、いろいろな方でよくなっていると思っております。そんななかでご承知のように本年度から二上小学校ではコミュニティ・スクール、これは法律ができた段階では指定というかたちでさせていただいたんですけども、先日も二上小学校の学校運営協議会の2回目が行われ、そこで一定の話し合いがなされ、二上小学校のコミュニティ・スクールがまさに学校の教師だ

けではなく、教師の手が及ばないところまで保護者の方、地域の方の力がそこに加わって、二上小学校は今いい教育をされております。そういった意味から、今後はいわゆる教育委員会からの指定ではなしに、うちの学校はそうしますという手を上げたところをコミュニティ・スクールにするとなっておりますので、来年度以降少しでも多くの学校がコミュニティ・スクールとして手を上げる。もちろんそのためには校長先生を含めた先生方はもちろんですけれども、保護者と地域の方の力が合わさらないと、なかなかコミュニティ・スクールとして機能されませんので、今後地域の方の力をお願いして、少しでも多くの学校がコミュニティ・スクール、そして子どもたちの力をつける、そんな方向になればと思っております。また先ほど言いましたように、教育委員さんそれぞれの担当の学校でそんな話もしていただき、また学校の悩みも聞いていただいて、ぜひ教育を進めていただきますようお願いいたします。いつも申し上げておりますが、香芝の子どもは香芝の者が責任を持って育てるんだということをお願いしたい。また、よい地域によい学校ができ、よい学校はよい地域にあるんだという思いで、ともによくなっていくように教育委員会、事務局としても考えていきたいと思っておりますので、今後ともご意見頂戴できたらと思っております。今日は時間にも限りがございます、十二分な話し合いができなかったんですけれども、またこういった機会を持ちたいし、皆様のご意見を聞きたいと思っておりますので、よろしく願いたします。

教育長 ここで暫時休憩といたします。

(午前10時45分 休憩)

(午前10時46分 再開)

教育長 休憩を解いて再開したいと思います。

教育長 次回の教育委員会会議は、11月15日水曜日の午後1時30分からということをお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。

各委員 (「異議なし」の声あり)

教育長 では、次回の平成29年第13回教育委員会会議は、11月15日水曜日の午後1時30分から開催させていただきます。

教育長 本日の案件はすべて終了いたしました。これをもちまして、平成29年第

12回教育委員会会議(10月定例)を閉会いたします。皆様方におかれましては、長時間にわたりまして、慎重ご審議ありがとうございました。

(午前10時48分 閉会)